初志貫徹

「後生可畏（こうせいかい）」【論語】は、「後進の者は、将来どんな大人物になるかわからないからおそるべき」という意味です。後輩をあなどってはいけない、たくさんの可能性を秘めており、何かに一所懸命に努力している人から学ぶことも多いからの意味。

学校教育目標
夢と志をもち、実現に向かって
自ら努力し続ける生徒の育成

八代市立第四中学校だより第１２号
令和６年３月４日
文責　校長　沖田　龍藏

「１年間を総括（そうかつ）し、次年度の飛躍を！３年生は後期選抜と卒業へ」

３年生は、３月５・６日の公立後期選抜を終えると、いよいよ３月８日（金）は卒業式を迎えます。保護者や後輩、学校の先生、地域の方々に感謝の気持ちと卒業後の決意を式の中の態度で表してくれることを期待しています。卒業生や在校生が合唱コンクールで披露した素晴らしい歌声を、きっと、「四中プライド」で体育館に響かせてくれると思います。

２月を振り返ってみますと、７日は授業参観、四葉会定期総会、学級・学年懇談会、２年立志式を行いました。立志式は学年役員さんや保護者の協力のもと、竜峰山頂上まで登り、自ら将来の夢（目標）を保護者の前で語りました。これから、自分の夢を志をもって実現することを楽しみにしています。まずは、立志式での決意を、橋本左内の言う、「去稚心」（きょちしん）をもち、日々小さな目標を立てて、「凡事徹底」（ぼんじてってい）していきましょう。１３日は、八千把小学校６年生向けに、本校で「新入生説明会」を実施しました。緒方生徒会長並びに生徒会役員で四中ライフや行事をプレゼンを使って説明していました。また、各部活動キャプテン、部長が部活動の魅力とよさをアピールし、入部を促してくれました。多くの新入生が部活動で、心と体を鍛えて、逞しく成長してくれることを望みます。２１日は「地域未来塾」の閉講式でした。３年間、学び続けた相良さん（３年生）が塾の講師の方々に代表して感謝の言葉を述べました。２８日は小中学校合同研修会、２９日は四中校区コミュニティスクールを行い、今年度の取組を小中学校の教職員で総括し、次年度への方向性を協議する中で、校区で子供たちを見守り、育てていくことを確認しました。また、コミュニティスクールでは、委員の皆さんに下期の学校関係者評価（裏面及び別紙）を公表しました。生徒アンケートからは、課題として「メディアコントロールし、規則正しい生活習慣に取り組んでいる」（７２.５％）、「授業で出された宿題を提出している」（８２.６％）、「家庭学習を９０分以上する習慣が身に付いた」（６５.２％）が挙げられます。成果としては、地域行事やボランティア活動への参加をとおした「地域貢献」、「夢や将来つきたい職業がある」（69.2％）等が下期にかけて上昇しており、立志式や進路学習をとおしたキャリア教育が浸透している手応えを感じています。「心のアンケート」等をもとに、今年度いじめは２２件を初期対応し、いじめが続いていたのは４件でした。現在、生徒や保護者の協力を得ながら解消している状態ですが、継続し見守っていきます。今後も仲間づくりによる未然防止と早期発見に努めます。「**第四中学校 HP」で検索を！**